

政策分析シート（平成29年度）

政策名	人が集う魅力あるまちの形成	政策No	06	部名 部長名	産業経済部 石原 内線 440	
関連部名						
行政評価事業体系	分野	産業革新都市				
目的	観光振興を積極的に推進することで、地域経済・産業の活性化、区民の地域に対する誇りの高揚、来訪者との交流による地域の活性化等を図り、「人が集う魅力あるまちの形成」を目指していく。					
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文	
		26年度	27年度	28年度		
	まちの魅力	2.57	2.56	2.61	荒川区は、区外から人が訪れたいくなる魅力のあるまちだと思いますか？	
標	政策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み 目標値(38年度)	
	観光(バ)外入場者数(千人)	114	118	99	129	川の手荒川まつり(28年度途中終了)シダレザクラ祭り、 バラの市、伝統技術展、都電荒川線沿線スタンプラリー、 産業展(29年度からモノづくり技あり市へ移行)

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額	
	行政費用	給与関係費		61,335		地方税等		0	
		物件費		23,241		国庫支出金		0	
		維持補修費		358		都支出金		3,274	
		扶助費		0		分担金及び負担金		0	
		補助費等		17,919		使用料及び手数料		0	
		減価償却費		412		その他行政収入		1	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		3,275	
		賞与・退職給与引当金繰入額		3,100		行政収支差額(a)-(b)=(c)		103,091	
		その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0	
行政費用合計(b)			106,366		通常収支差額(c)+(d)=(e)		103,091		
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		103,091			
貸借対照表	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額	
	流動資産	収入未済		0		流動負債		3,100	
		不納欠損引当金		0		還付未済金		0	
		その他の流動資産		0		特別区債		0	
		有形固定資産		24,223		賞与引当金		3,100	
		土地		19,045		その他の流動負債		0	
		建物		1,260		固定負債		27,058	
		建物減価償却累計額		125		特別区債		0	
		工作物等		5,523		退職給与引当金		27,058	
		工作物等減価償却累計額		1,480		その他の固定負債		0	
無形固定資産			0		負債の部合計		30,158		
建設仮勘定		0		正味財産		3,664			
その他の固定資産		9,599		正味財産の部合計		3,664			
資産の部合計		33,822		負債及び正味財産の部合計		33,822			

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>定住人口の回復や増加に向けた取組と並行して、交流人口を拡大することが、地域経済活動を活発にする有効な手段であり、国はもとより全国自治体で観光振興が推進されている。</p>
課題	<p>区においても、受入環境の充実を図るとともに観光資源の発掘やPRを積極的に行い、交流人口の拡大を図り、にぎわいと活力あるまちづくりを進めることが求められている。 さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、国内外から東京へ多くの旅行者の来訪が見込まれる。荒川区にとっても大きなチャンスであることから、他自治体や関係機関等とも連携し、より一層観光振興への取組の拡大を図っていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>地域の活性化を図るため、新たな観光資源の発掘、形成などにより、観光振興を推進していく。 地域の観光資源を有機的に結び付け、回遊性を高める取組をさらに進めていく。 来訪者が安心して快適に楽しめるよう、満足度を高めるハード・ソフト両面の環境整備を進めていく。 近隣区や他自治体等との連携を強化し、事業の実施を進めていくとともに、地域団体等民間によるにぎわい創出を支援していく。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催やその後の展開を見据え、外国人観光客を含めた来訪者の受入体制の整備を促進していく。 様々なツールを活用し、区内外へ区の魅力や観光情報を発信していく。 懇談会等の提言を今後の計画づくりに活用していく。</p>

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	29年度設定	30年度設定	
観光資源の発掘とにぎわいの創出	重点的に推進	重点的に推進	<p>新たな観光資源の発掘に積極的に取り組むとともに、集客力の高い魅力あるイベントを実施していくことにより、区内外からの誘客を促進し、地域経済・産業の活性化を図ることが期待できることから、当該施策の優先度は高い。</p>
受入体制の充実と観光情報の発信	重点的に推進	重点的に推進	<p>受入体制の充実を図るとともに、広く区の魅力を発信していくことで、区のイメージアップや来訪者の増加に繋がり、地域の活性化、区民の地域に対する誇りの高揚など様々な効果が期待できることから、当該施策の優先度は高い。</p>